

平成27年度朝霞市一般会計当初予算のポイント

いきいき朝霞宣言

「笑顔に出会うまち・朝霞」

▽平成27年度当初予算額 369億5,000万円

(前年度比11億4,000万円、3.2%の増額)

▽個人市民税の増加などにより、

市税が2.1%増の210億1,234万2千円

▽庁舎施設耐震化事業などにより、

総務費が17.3%増の48億7,891万3千円

主な新規・重点事業については下記のとおりです。

(1) 新規事業

○戦没者追悼事業 1,250千円

(P64・65)

- ・戦後70年を迎えることから、戦争により犠牲となられた方々のご冥福を祈念するとともに、戦争の記憶を風化させることなく、21世紀を平和の世紀としていく意識の醸成を目的とした戦没者追悼式を実施します。

担当：人権庶務課

○シティプロモーション事業 360千円

(P66・67)

- ・平成29年3月に市制施行50周年を迎えるにあたり「シティ・セールス朝霞ブランド」など、朝霞市の魅力を市内外に広くアピールするため、専門的な知識のあるアドバイザーからの意見を伺いながら、シティプロモーション事業を行います。

担当：市政情報課

○衛星系防災行政無線施設再整備事業 11,250千円

(P82・83)

- ・埼玉県が平成11年度から設置・運用している衛星系防災行政無線の老朽化に伴い再整備を行うものです。整備費用については、受益者負担の観点から、市及び県がそれぞれ1/2を負担します。

担当：危機管理室

○悪質電話被害対策機器購入費補助事業 300千円
(P126・127)

- ・振り込め詐欺等の被害を未然に防ぐため、予防効果が期待される機器の購入に対し、3千円を限度とした補助を行います。

担当：地域づくり支援課

○高齢者補聴器購入費補助事業 400千円
(P164・165)

- ・聴力機能低下により、日常的なコミュニケーションがとりにくい高齢者に対し、補聴器を購入する費用の補助を行います。

担当：長寿はつらつ課

○子ども・子育て支援事業 2,072,576千円
(P186・187)

- ・平成27年度から施行される子ども・子育て支援新制度へ移行する認定こども園、幼稚園、保育園に対する「施設型給付」及び、小規模保育等に対する「地域型保育給付」を行います。なお、市内には、認定こども園、新制度に移行する幼稚園はありません。

担当：保育課

○雨水貯留槽設置費補助事業 200千円
(P222・223)

- ・雨水の再利用を促進し、適正な水資源の循環を図るとともに、雨水の流出を抑制し、防災・減災を図ることを目的として、住宅の雨どいに雨水貯留槽を設置する方に費用の補助を行います。

担当：環境推進課

○市庁舎太陽光発電設備設置事業 21,950千円
(P224・225)

- ・埼玉県再生可能エネルギー等導入推進基金を活用し、災害時の通信機能確保のため市庁舎屋上に太陽光発電及び蓄電池設備などの非常用電源設備の導入を図ります。

担当：環境推進課

○黒目川桜並木管理事業 3,945千円
(P262・263)

- ・黒目川まるごと再生プロジェクトの一環で、植樹を行うとともに、整備中の黒目川遊歩道6か所に総合案内看板、黒目川にかかる15橋に橋名看板を設置するほか、地域の交流・憩いの場としてベンチを設置します。

担当：道路整備課

○長期未整備都市計画道路見直し事業 7,000千円

(P264・265)

- ・社会状況の変化や制度改正等を踏まえ、都市計画道路の必要性や構造の適正さについて検証を行うとともに、必要な見直しを行います。

担当：まちづくり推進課

(2) 拡充事業

○納税コールセンター設置事業 12,324千円のうち6,014千円

(P96・97)

- ・主に現年分の市税の徴収対策として設置している納税コールセンターの設置期間を半年間から通年に拡充し、これまでの取扱い税目に加えて、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育園保育料についても催告の対象とします。

担当：収納課

○市民まつり補助事業

市民まつり補助金22,900千円のうち2,000千円

(P122・123)

- ・市民まつり実施のために朝霞市コミュニティ協議会へ交付している補助金の充実を図ります。

担当：地域づくり支援課

○朝霞地区福祉会相談支援事業

朝霞地区福祉会負担金30,113千円のうち3,011千円

(P148・149)

- ・障害福祉サービス又は児童通所サービスを利用する際に、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画の作成が義務付けられており、計画作成の更なる進捗を図るため、社会福祉法人朝霞地区福祉会において相談支援事業を実施します。

担当：障害福祉課

○障害者施設等運営支援事業

障害者多機能型施設指定管理料117,057千円のうち9,749千円

(P154・155)

- ・平成27年3月に和光南特別支援学校を卒業する方などの通所先を確保するため、はあとびあ障害者多機能型施設の定員を拡大することに伴い、施設職員を2人増員します。

担当：障害福祉課

○いじめ問題対策事業 **358千円**
(P292・293)

- いじめ防止対策推進法に基づき、朝霞市いじめ問題対策連絡協議会を設置し、朝霞市立の小学校及び中学校におけるいじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。また、朝霞市いじめ問題専門委員会を設置し、朝霞市立の小学校及び中学校におけるいじめの防止等のための対策を実効的に行うとともに、法の規定に基づき、重大事態に係る事実関係を明確にするための調査及び報告を行います。

担当：教育指導課

(3) 計画策定事業

○公共施設等総合管理計画策定事業 **562千円**
(P70・71)

- 昭和40年代から50年代に建設された公共施設・社会インフラが大量に更新時期を迎えているなか、公共施設の全体像を適切に把握し、長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことで、財政負担の軽減・平準化を図っていきます。そのため、国土交通省が策定した「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、市の公共施設等総合管理計画を策定します。

担当：財産管理課

○防犯推進計画策定事業 **468千円**
(P124～127)

- 平成28年度から平成32年度までの5か年を計画期間とする第3次朝霞市防犯推進計画を策定し、犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを推進します。

担当：地域づくり支援課

○地域福祉計画策定事業 **8,004千円**
(P144～147)

- 社会福祉法の規定に基づき、地域福祉の推進に関する基本的かつ総合的な指針を定めるため、平成28年度から平成32年度までの5か年を計画期間とする第3期朝霞市地域福祉計画を策定します。

担当：福祉課

○ごみ処理施設整備計画策定事業 **23,702千円**
(P232・233)

- ごみ処理施設を平成33年度末までに更新するため、平成27年度から平成29年度の継続事業で、施設規模や処理方式などを定めるごみ処理施設整備計画を策定します。

担当：資源リサイクル課

○生涯学習計画策定事業 4, 778千円
(P332・333)

- ・生涯学習の推進に関する施策を総合的かつ体系的に推進するため、平成27年度から平成28年度の継続事業で、平成29年度から平成38年度までの10か年を計画期間とする第3次朝霞市生涯学習計画を策定します。

担当：生涯学習・スポーツ課

(4) 普通建設事業

○庁舎施設耐震化事業 729, 712千円
(P78・79)

- ・平成26年度から平成29年度の継続事業で、市民サービスの中心となる市役所庁舎の耐震補強工事に着手し、震災発生時に庁舎利用者等の人命を守るとともに、災害時に活動拠点となる市役所庁舎の機能を確保します。事業者の選定は、民間が保有する新技術・新工法を有効に活用することで、目標とする耐震性能を低コストかつ円滑に確保するため、公募型プロポーザル方式（設計・施工一括）により決定しました。

担当：財産管理課

○朝光苑施設改修工事 2, 000千円
(P170・171)

- ・特別養護老人ホーム朝光苑の食堂等の窓ガラスに飛散防止フィルムを設置し、入所者の安全を確保します。

担当：長寿はつらつ課

○健康増進センター施設改修工事 15, 218千円
(P218・219)

- ・健康増進センターの施設設備の老朽化対策として、防火ダンパー及び排煙窓の改修工事を実施します。

担当：健康づくり課

○道路改良事業 38, 016千円
(P258・259)

- ・生活道路の安全と環境の整備を図るため、道路改良工事を実施します。

担当：道路整備課

○宮戸橋耐震補強工事負担事業 105, 000千円
(P262・263)

- ・宮戸橋の耐震補強工事を行うため、志木市との管理協定に基づき、費用の1/2を負担するものです。

担当：道路整備課

○観音通線整備事業 111,765千円
(P268・269)

- 平成26年度に朝霞第四中学校前交差点から県道新座・和光線までの約207mの区間の事業認可を取得し、平成27年度は用地買収及び建物移転交渉を進めます。

担当：まちづくり推進課

○道路安心・安全緊急改良工事 3,000千円
(P280・281)

- 交通安全の強化を図るため、交差点がより分かり易いように交差点マークやベンガラ舗装等を施すことにより、交差点での交通事故の減少に努めます。平成25年度から平成29年度の5年間実施し、平成27年度は20箇所を予定しています。

担当：まちづくり推進課

○内間木公民館施設改修事業 150,402千円
(P360・361)

- 施設の老朽化対策のため、屋根・外壁・内装・給排水設備の改修を行うとともに、バリアフリー化のためのエレベーター及び自動ドアの設置、並びに再生可能エネルギーである太陽光発電設備の設置を行います。平成26年度で設計が終了し、平成27年度は工事を実施します。

担当：中央公民館